

この3年間の汗の記録



原子力発電所を視察点検

平成23年5月20日、東日本大震災による福島原発事故を受けて、当選直後に県内原発を視察点検しました。



東日本大震災被災地を視察

5月31日と6月7日、南三陸町、石巻市、女川町、仙台市、相馬市、陸前高田市、山元町など岩手県、宮城県、福島県の三県を視察しました。



北陸新幹線の工事を視察

平成24年2月15日、会派で北陸新幹線で工事中の富山駅と石川県の白山車両基地、ならびに富山県庁を視察しました。



テレビ県議会に出演

3月17日、会派の副幹事長として、新幹線、原発、景気経済などをテーマに、テレビで討論をしました。



議会基本条例の先進地視察

7月13日～14日、宮城県議会と北海道議会を訪問し、「議会基本条例」の基本理念の作り方と、その後の進め方を学びました。



あわら市から県への要望活動

8月28日、あわら市長とともに知事および関係部局長を回って、あわら市から県への要望事項を訴えました。



国土交通省への要望活動

11月2日、最近の用地交渉の遅れや予算の減少に対して、強い不満を表明し、早期改善と来年度の予算増を求めました。



通学路のチェック

平成25年1月30日、あわら市内の県道にある通学路の安全性をチェックしました。市議会議員や地域の皆さんのご意見を伺い、安全対策を進めております。



全国の優良商店街の研究

平成24年から続けている中小企業庁選定の全国の優良商店街を研究するために、時間を作って北海道から九州まで視察して回っております。



「議会基本条例」作業部会

平成23年10月から平成25年9月までの約2年間、6名の作業部会メンバーで全21回の検討会議を重ねて、平成26年3月に条例が成立しました。



国交省の大阪陳情

7月23日、中部縦貫道路、舞鶴若狭道路、国道8号線バイパスなどへの予算付けのため、近畿地方整備局へ陳情を重ねています。



台風18号の被害調査

9月16日、あわら市内での被害調査を実施し、道路冠水、家屋の床下浸水、土砂崩れなどの現場をまわり、三国土木事務所、坂井農林総合事務所に対応を求めました。



北海道へ新幹線調査

10月16日、県議会として本県と連携してスキーム短縮に取り組んでいる北海道議会を訪問し、今後の戦略について模索しました。



沖縄での県人戦没者異例

10月19日、県遺族会連合会の皆様と共に、沖縄県糸満市の摩文仁の丘の「福井の塔」慰霊式に出席し、追悼の言葉を申し上げました。



嶺南の被災地視察

11月5日、全国初の緊急警報を受け、福井豪雨以来の激甚災害指定を受けた嶺南の被災地を、県議会を挙げて視察し、復旧に取り組みました。

GO! FORWARD

発行日■平成26年3月31日

発行者■笹岡一彦 福井県あわら市春宮一丁目5-14
TEL&FAX 0776-73-7105
www.sasaokakazuhiko.net

笹岡一彦ブログ

検索



笹岡一彦●県議会報告 3期目3年目の総集編

前半は、政調会長として、「政策会議」を創設し、議会活性化を果たす。
後半は、県議会議長として、「アクティブな県議会」の先頭に立って奮闘中。



▲ 政策会議「新幹線」チームの議論風景



▲ 国会議員との新幹線政策会議を開催

県議会議員3期目3年目である平成25年度は、前半は最大会派である自民党県政会の政調会長として、「新政調システム」を提案し、新たに「政策会議」を創設しました。これは、今まで議員個々の政策案を知事に提案したり、議員発議による政策条例によって基本的な政策立案を行ったりするだけで、会派として政策論議をする機会が殆ど無かったことから、会派として重要な政策について深く研究するとともに、研究の結論を総会で語り、全員が一致したならば、会派政策として認定して、さらに強力にその実現を推進していこうという狙いです。まさに政策集団としての体制を整備するためのシステムを構築したわけです。

24名の会派メンバーを、特別委員会の配属状況に沿って4つのチームに分け、「新幹線」「原発」「TPP」「道州制」の4テーマを持たせて、月に1度の頻度で議論を重ねていくものです。「新幹線」では12月に敦賀以西ルート問題で京都府議会自民党府議団を福井にお招きして意見交換会を実施しましたし、「原発」では11月に敦賀原発に対する規制委員会の安全審査を視察しました。また、「道州制」では、自民党本部や総務省に赴いて基本法案が提出されるか否かという情報収集をしたり、「TPP」でも農業団体との意見交換などに取り組むなど、会派と議会の政策論議は一段と活発化しました。

年度後半には、伝統ある福井県議会の第95代議長に就任し、「アクティブな県議会」「より県民に身近な県議会」を目指して奮闘いたしました。新幹線のスキーム短縮や高規格道路、国道8号線バイパスの延伸など合計15回以上上京しての要請活動や、原子力規制委員会からの説明会の開催や、安全審査の進め方についての意見書提出なども実施しました。さらには、台風18号による嶺南の被災地を県議会を挙げて視察し、早期復旧の道筋を付けたり、福井県議会訪中国の団長として中国浙江省との友好締結20周年記念事業を成功させました。

また、作業部会座長として2年間かけて作成した「議会基本条例」を本年の3月19日に全会一致で成立に漕ぎ着けました。



▲ 第95代県議会議長に就任する



▲ 議長就任祝賀会

県民からのパブリックコメント募集中!

笹岡一彦ブログ

検索

facebook
twitter

http://www.facebook.com/kazuhiko.sasaoka
https://twitter.com/#!/k_sasaoka



3期目「私の政策方針」

1 環境政策の推進

本県の美しい自然環境を守るため、地球温暖化防止、循環型社会構築、生態系保護、環境汚染防止、再生可能エネルギー推進、環境教育強化、環境団体と環境運動の支援、県立芦原青年の家の環境体験施設としての再整備を進めます。

- 1 県立芦原青年の家の「実施設計」が2月県議会で承認され、今年造成工事に入ります。
- 2 北潟湖を生き物のホットエリアとして、県が市と連携して整備することを引き出しました。
- 3 越前市で始めたコウノトリの繁殖事業を全県的に広げていくという方向性を促しました。
- 4 絶滅危惧種および本県固有種の保全のため、レッドデータブックの活用を要請しました。
- 5 県の再生可能エネルギー・新エネルギー推進への取り組みを訴えました。

2 教育と福祉の充実

本県の日本一の「教育」「子育て」を守り、県民が安心して暮らせる社会を実現するために、女性へのDV防止、児童および高齢者虐待防止、障がい者支援、本県の医療福祉政策の位置付け確立、治安と防災の充実を進めます。

- 1 県の重要文化財「本荘春日神社」の改修費に対して、特段の補助金が獲得できました。
- 2 坂井地区高校再編で、金津高校の普通科を1クラス増設することができました。
- 3 要保護児童のために、児童相談所内に「里親会事務局」を設置することができました。
- 4 通学路の安全確保のために、大型車通行規制や歩道スペースの確保を実現しました。
- 5 DVから女性を保護するために、県と県警により相談しやすい環境設定を求めました。
- 6 非婚化・晩婚化の改善と女性活躍社会実現のために、教育の見直しを求めました。

3 強い農林水産業の育成

本県の農林水産業を守るため、具体的戦略なきTPP交渉参加に反対し、用水網の早期整備、鳥獣害および害虫防止対策、地産地消の推進、県産木材の支援、広域幹線林道の進捗、知的財産権を活用、不漁対策、漁場育成などを進めます。

- 1 TPP交渉について国に国会決議を守るように意見書を決議し、直ちに送致しました。
- 2 東江、西江、中江など県営かんがい事業に順調な予算付けがされるよう努力しています。
- 3 広域基幹林道剣ヶ岳線の工事進捗について、毎年順調な予算獲得に努力しています。
- 4 熊坂地区の土砂崩れ被害のあった林道の災害復旧工事を、県費で実施しました。
- 5 赤尾地区、北潟西地区(鷺の浦)の水田の崩壊を防ぐため湖岸補修工事を実施しました。
- 6 民主党政権下で大幅に削減された国と県の鳥獣害対策予算が復活するよう努めました。
- 7 剣ヶ岳文化共栄会および坪江愛林クラブの法人化が認可されるようサポートしました。
- 8 北潟漁業協同組合の漁業権の更新をサポートし、無事に手続きが完了しました。

4 景気対策と商工業の再生

本県とあわら市の観光をより育成し、知名度と集客力の向上、先端産業を柱とした成長戦略構築、企業誘致、中小零細企業の経営支援、景気対策、商工組織や商店街の支援、新規学卒者の就職支援、雇用環境の向上などを進めます。

- 1 金津駅前地区を県の「ふるさと創生プロジェクト事業」に指定し、活性化を進めています。
- 2 まちなみ魅力アップで、検番や藤野巖九郎記念館、足湯など「湯のまち広場」を建設しました。
- 3 中小零細企業の倒産防止のため、国県に対してセーフティネットの維持を要請しました。
- 4 北陸新幹線の測量、設計、工事に県内企業が参加できるよう、資格緩和を実現しました。
- 5 商店街再生をテーマに全国を精力的に視察し、政策立案への努力をしました。
- 6 防災力維持のため1千万円以下の工事入札を、土木事務所単位から市単位にしました。
- 7 減少していた坂井地区の土木予算を1.5倍にして、地域の除雪力の維持に努めました。

実行状況のご報告

5 まちづくりと坂井地区の連携強化

北陸新幹線の県内延伸、中部縦貫自動車道の延伸、国道8号線バイパスの延伸と県境までの拡幅工事認可獲得、都市計画道路金津-三国線の進捗、各県道計画推進、合併第二段階の契機を逃さぬ坂井地区の一体化を進めます。

- 1 「北陸新幹線のスキーム短縮」のため、合計15回以上も国への陳情を重ねています。
- 2 「並行在来線対策協議会」の早期設立と、県民への丁寧な情報提供を求めました。
- 3 「国道8号線バイパス」の延伸を要請し、昨年は10億円、今年は8億円を獲得できました。
- 4 国土交通省に要請し、「舞鶴若狭道」の今夏完成と、「中部縦貫道」の延伸を訴えました。
- 5 都市計画道路「金津-三国線」(重義-芦原街道)を昨年度から着工しました。
- 6 県道「北潟-平山線バイパス」が完成し、風力発電所へのアクセスが向上しました。
- 7 県の補助事業として、市道「千束-赤尾線」が、本年着工しました。

6 議会改革

議員個々のスキルアップにより議会全体の監視能力と政策立案能力が向上し、全国や他府県議会、あるいは外国地方議会との交流により意識改革するとともに、新たな改革風土の醸成による旧態や前例主義から脱却します。

- 1 「議会基本条例」案を作業部会座長としてまとめ、本年3月に成立させました。
- 2 政調会長として「政策会議」を創設し、新幹線、TPPの議論を活発化しました。
- 3 「全国都道府県議員研究大会」への毎年の参加で議員力アップに努力しています。
- 4 毎日ブログを更新するとともに、フェイスブック、ツイッターなどでも発信します。

7 その他の分野

- 1 橋、トンネル、公共構築物の点検を進め、空き家対策を充実するよう求めました。
- 2 危険運転につながる持病に対して、運転免許の適性チェックの強化を求めました。

県立芦原青年の家・移転新築・基本設計

整備概要

- 1 予定地
福井県あわら市北潟11字中ノ河戸地係
- 2 敷地面積
約50,000㎡
- 3 主な内容
つどいの広場、きずなの広場、
カーヌーハウス、ガラススキー場、
キャンプ場、サイエンスルーム
研修室、体育館、宿泊棟A、
宿泊棟B、管理棟、食事棟
延床面積 約3,700㎡
宿泊定員 120名(現在は約60名)
- 4 オープン予定
平成28年10月(2年半後)

